

保護者様

船橋市立高根台第二小学校

校長 新田 真理子

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

新春の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本日は令和6年4月に実施しました、全国学力・学習状況調査の結果について公開をいたします。なお、調査の結果は児童の学力全てや教育活動の全てを計るものではありません。調査の結果は学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一面であることを申し添えます。

《教科に関する調査の結果と考察》

1, 教科の調査結果に見られる特徴と現状分析

国語	<p>①全体の結果は、千葉県の前年度を2ポイントほど上回っていること。</p> <p>②【情報の扱い方に関する事項】、【C 読むこと】の正答率が高く、優れていること。</p> <p>③【選択式】の正答率が高いこと。</p> <p>上記の3点以外には、【記述式】の正答率のみ、全国の前年度を5ポイントほど下回っている。</p>
算数	<p>①全体の結果は、千葉県の前年度を3ポイント程度上回っていること。</p> <p>②【D データの活用】の正答率が高いこと。</p> <p>③【C 変化と関係】が他領域に比べると正答率が低く、課題としている児童が多いこと。</p> <p>また、問題形式については、【選択式】が高くなっているがどの形式についても全国の前年度を上回ることができていた。</p>

2, 児童質問紙調査の結果と考察

<p>児童質問紙調査の結果については、すべての項目で全国比より高くなっている。また、学習への関心等も昨年度より向上が見られた。以下は、校内の考察である。</p> <p>①地域の教育に対する関心の高さと家庭学習の取り組みの向上</p> <p>②国語科・算数科における学習意欲の向上に向けた授業作りの実践を進めた成果</p> <p>国語科・算数科共に関心等が全国値よりも高くなっている。これに伴う形で正答率も全国値を上回っている。高い学習への関心こそ、学力向上の根源だと言える。引き続き、関心等の向上に努めていきたい。</p>

3, 今後の教育活動について

<p>今後の目標として大きく3点が挙げられる。</p> <p>①児童の興味・関心を高める授業作りを基に、学力の向上に努める。</p> <p>②国語科・算数科における全体のボトムアップを目指す。また、算数科における【C 変化と関係】の指導の充実を目指す。</p> <p>《短期的な取り組み》</p> <p>①校内で分析結果の共有と改善目標の共通理解を図り、「学力向上」のための授業作りに取り組む。</p> <p>②学校全体で年度内に【C 変化と関係】の関連指導項目を検討する。校内研究と関連付けて取り組む。</p> <p>《長期的な取り組み》</p> <p>①国語科の授業改善を行う。【記述式】の解答形式を意識し、日頃から自分の考えを記述する機会を意識した指導を行う。</p> <p>②算数科の授業改善を行う。児童が主体的に取り組めるような問題提示の工夫や「数学的活動」を充実させる学習活動を取り入れる。また、国語科同様に【記述式】の対策にも取り組んでいきたい。</p>
--